

特定非営利活動法人（NPO法人）  
鶴ヶ島第二小学校区地域支え合い協議会



# 鶴二支え合いだより

第109号（9月）

発行：鶴二支え合い広報部

鶴ヶ島市鶴ヶ丘358-1

鶴ヶ島第二小学校南校舎内

電話：049-298-7974

mail s-2012012039561@ah.wakwak.com

<https://tagucchi.wixsite.com/tsuru2sasaeai>



## 議会報告会2021 市民とギインの懇談会 オンライン会議【Zoom】

テーマ「皆さんは、どう考えますか？小・中学校、公共施設の再編」

2021年8月21日(土)13:30~14:30 東・富士見・南市民センター地域

参加者：（会長細貝光義）市民21名 +（議員8名）



### 【小・中学校再編について】

- ・再編はやむを得ないが、例えば4カ所の小中学校を統合し、立派な建物を作るとかいうような計画はなかったのか。未来を作り出していく彼らの教育にもっとお金をかけるべき。費用の前に政策論として議論すべき。
- ・街灯、通学路の整備をしっかりとしてもらいたい。・通学が遠くなる児童はスクールバスを。
- ・子どもたちが輝くまち、学習がしっかりできるまちなど教育環境をしっかりと作っていくことが大切な課題。

### 【公共施設の再配置】

- ・市民活動推進センターは、市内の各地区の市民活動団体の会合の場だった。市民活動のサポートする仕組みはどうなっていくのか。
- ・鶴ヶ島で子育てしたくなるまちを重点に置く。反対するような計画ではない。少しでも明るい兆しが見えるような案が市民に伝わってない。

### 【実施する時期について】

- ・世の中が変化していく、コロナのような状況も起こる。必ず見直しをしながら進めてもらいたい。

## コラム：普通の生活って何？

「なんだマスクなんてつけて風邪をうつすなよ！」そんな言葉は昔の話、しかし今はどうでしょう？マスクつけていないとあの人大丈夫か？…となるご時世である。

マスクをしましょう、消毒しましょう、不要不急の外出は控えましょう、食事の時もマスクをしましょうと来たもんだ。追い討ちをかけるように蔓延防止に緊急事態宣言と、どれが普通の生活なのか普通を見失っている。今までの普通は、これからの普通にはならないかもしれない。だから、自分たちが今できることは、新しい情報に耳を傾け、「正しい知識」で「正しく恐れる」こと。闇雲に恐れ、外出をしない生活をすれば、足腰が弱くなる身体的な衰え、人との会話も減り認知・心理的な衰え、人との繋がりが減って社会的な衰えにつながります。いつの時でも顔の見える関係が大切ですから、zoomにオンラインなど聞き慣れない難しいことはやめておき、時間帯や場所、人数を考え、一日一回、「外に出て散歩をする」「会話をして笑顔になる」。

散歩で出会った人とちょっとした会話や、友人と電話もいいと思います。たまには立ち止まってスマホで写真を撮ってみたい、いつもと違う何か楽しみをプラスするのもいいでしょう。

安心して安全な地域であり続けるように、私たちもウイルスと共生をするべく、生活も変化し続けていかななくてはならないでしょう。いつの時も笑顔を忘れずに過ごしていきましょう。

（理事 松本勇）